

標十五句

松岡隆子選

成人の日の干し物が羽搏けり	湯気立ての部屋のひねもす翳りたる	服薬の仕分けに倦みて冬ごもり	身罷りし人等と拝す初日の出	短日のマストより昏れ船溜り	雪搔の身よりも高く雪抛る	湯豆腐の湯気立つ向かう母の無く	冬木に芽そろそろ雨の欲しきころ	ふはと雲ゆき臘梅の透きとほる	枯菊の吹かれ音なき音こぼす	うかうかと松も過ぎけり玻璃戸拭く	大寒の光ひろる水の底	あるだけの青菜散らしぬ七日粥	大寒の日差しにかざす吉神籤	枯れ枯れて櫛の威容ことのほか
別府 優	染谷 晴子	小野 瑞枝	秋元 きみ子	松原 ふみ子	室井 千鶴子	加藤 暢一	渡辺 あつ子	小山 陽子	旭 幹子	田中 敦子	町田 洋子	長束 フミ子	中谷 信子	珍田 千代子